

てんびんガイド だより



近江八幡観光ボランティア
ガイド協会 広報部発行
お問合せ
近江八幡駅
北口観光案内所
0748-33-6061
協会:HP/OR



令和6年度 交流研修会 開催 〈淡海観光ボランティアガイド連絡協議会主催〉



特別講演 江戸時代の近江の街道

6月20日、豊郷町文化ホール「豊栄のさと」で開催された交流研修会に参加しました。

昨年、私は交流研修会で武佐宿コースのガイドの担当でした。それで、中山道のこと、宿場のこと、本陣、問屋、宿の人口など頑張っただけで覚えました。私の中で消化しきれないままのガイドでした。それが、今回の谷口徹氏（米原市柏原宿歴史館館長）の講演で、スーッと胸に落ち、なるほどとよく理解できました。ただ、一つ引っかかったのは、街道は住民のために整備されたのではなく、江戸幕府の統治のためだったと。谷口先生、またいつか、続きをお聞きしたいです。

午後からは旧豊郷小学校を見学させていただきました。昭和12年に建てられたものとは言え、実によく考えられた近代的な建物で驚きました。空気が循環するように考えられた窓、踏板の幅が広く・段差が低く・明るく・踊り場のある階段、風向計の指針が階下に設置された羅針盤、など、本当に住む人（使う人）が暮らしやすく考えられた、優しさ溢れる学校でした。改めてヴォーリズ建築の素晴らしさを実感しました。全国の皆さんがヴォーリズ建築に魅せられるのがよくわかりました。

また、当地には若い観光客の方達がたくさんお見えでした。アニメの聖地巡礼として全国からお越しだと思います。この方々にアニメの聖地としてだけではなく、ヴォーリズ建築の素晴らしさやその意図するものを感じ取っていただけたらと思います。

講演を頂きました谷口先生、湖東ブロックのボランティアガイドの皆様、とても有意義な研修をさせていただきました。本当にありがとうございました。

近江八幡観光ボランティアガイド協会 松本 共子

感謝感激！ 令和6年度交流研修会に参加して



この度は研修会に特別参加させて頂きありがとうございました。

午前中の谷口徹氏による「江戸時代の近江の街道」の講演では朝鮮人街道や中山道・柏原宿を始め宿場の使命や特権などの話や、大名行列は一日40kmも歩き

ほとんど駆け足状態で、テレビでよく見る「下に・下に」と、ゆっくり歩いていたのは宿場前だけだったと言う、面白い話も聞くことができました。

又、午後からの現地研修では豊郷町のボランティアガイドさんの案内で、豊郷小学校旧校舎群の講堂や通常は非公開の理科室・復元教室・貴賓室ではめずらしい物を見せてもらったり「白亜の教育殿堂」とも呼ばれた白い校舎が戦時中は空襲を逃れるために真っ黒に塗られた事があった事実など知らない事が沢山あり、改めてボランティアガイドさんの案内を聞くことの重要性を感じました。

また、このような研修がありましたら案内所にもお声をかけて頂けると幸いです。感謝

近江八幡観光物産協会

近江八幡駅北口観光案内所 西川代美子

「ガイドをさせていただきました」

豊郷小学校旧校舎群 非公開部屋見学コース



〈良かった点〉

熱心に耳をかたむけて下さいました。

皆様それぞれに驚きと『すごーいナァー』と言う声が聞けたように感じ取れました。

ガイドをしている私自身も、いつも『すごーい』と感じていますから、すこしでもお伝えと身に試みていただけた事が、うれしかったです。

〈反省点〉

注意して下さったことですが、皆様がお集まりになられましてから、話すように致します。指摘をいただきありがとうございました。これからは、沢山ガイド経験を致しまして、努力してまいりたいと思います。

近江八幡観光ボランティアガイド協会様のますますのご発展をお祈りいたします。

また、皆様のガイドを楽しみにしています。

その節は、よろしくお祈りいたします。

豊郷町観光協会ボランティアガイド「扇会」
番場 玲子（入会して1年目）

4名の受講者を迎えて ガイド養成講座開催

ガイド部長 松本三郎

ガイド養成講座は2018年から開始し、14名の方々が入会されました。

今年は、協会の退会者が多く危機感もあり多数の人に受講して頂くために、市広報に記載のお願いと、会長及び広報宣伝部長と共に新聞社に掲載依頼や、おやじ連、レイカディア大学近江八幡支部の会議にもご挨拶させて頂きました。

当初は申込者が無く心配していましたが、最終的に4名の申込者が有りました。

7月7日のオリエンテーションでは4名の参加で協会の説明及び協会会則の説明等を行いました。そこで、受講者に自己紹介で受講した理由は

- ・「あづち・はちまんふるさと検定」を受験して、初級中級は合格しましたが、この先上級を目指してもっと八幡の事を知りたくて受講しました。
- ・今年のふるさと観光塾に参加しましたが、その時は入会できなかったのが今回参加しました。
- ・名古屋から移転してきて、故郷の友人に近江八幡を案内したくて受講しました。
- ・協会のホームページ等を見て受講しました。

7月15日はガイドマニルの説明及び実ガイド研修3名の参加、7月21日はトライアル研修2名

の参加。暑い中ではございましたが、無事終了することが出来ました。

今回入会されますのは2名で、ガイド活動は、女性の方は現在お茶の先生をされていて平日のみ、男性は仕事を退職されて、何時でもOKとのことです。

今回入会されます2名の方はやる気満々ですので、今後の同行研修等を無事に終えて正式のガイドとして、頑張ってくださいと思います。先輩ガイドの皆様もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

同行研修スタート!!



新人ガイドあいさつ 歴史の街 近江八幡市 安藤一義・久保茂夫



安藤一義さん 久保茂夫さん

入会して3ヶ月。回数にして10回程(安土も含め)会議等に参加させて頂きましたがまだまだボランティアガイド協会のシステムについて分からない、知らない事だらけです。

分かった事は近江八幡市は歴史の街だという事でした。古代以前から近代までの多くの遺跡、史跡のあるところで、それを作り保存されてきた人達には頭が下がる思いです。その中でも織豊期の中世から近世に至る石寺・安土・八幡の三都市から八幡商人へと繋

がり、近代にあっては近世端緒の城下町に洋館が佇み生活の中に溶け込んでいる町はここ以外に観る事ができないことだと思いました。

退職するまで私は専門学校や企業で話をさせて頂きましたが、歩きながら生活道路上で邪魔をしない様に安全に説明する事の難しさを知りました。知識を詰め込むだけでも精一杯でしたが、一緒に入会された久保さんの笑顔を見た時、「おもてなし」は人間性の現れだと感じ知識だけで一杯一杯になるのでは無く依頼者も興味を持って頂ける案内をしなければならぬ事に気が付きました。感謝です。

依頼を受けた時は、お客様が楽しめる内容を検討し準備し物語を作って行きたいと思っています。ただ、今年の12月から10か月間は大阪・関西万博パビリオンのボランティアに参加する事が決まりました。申し訳ありません。楽しく頑張って良い思い出を作って参ります。

安藤 一義

納涼祭



楽しい風船割ゲーム

連日熱中症になるかと思うような中、わがガイド協会恒例の納涼会が、7月26日の夕方より白雲館2階で行われました。観光物産協会：田中事務局長、ヴォーリス記念館：藪館長、教育会館：伊崎代表理事などの沢山のゲストを交え総勢約60名あまりの参加で、いつもながら大変にぎやかで楽しいイベントでした。本当に企画も準備も後片付けも大変なことながら事業部の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。(広報部 東森)

知っ得 コーナー

「ヴォーリズと国会議事堂」

平松 清廣

数年前に、ヴォーリズ建築特別公開でウォーターハウスの案内時、一粒社ヴォーリズ建築事務所の方が来られ、「国会議事堂のドアノブはヴォーリズさんが輸入した物が使われている」ということを



お聞きしました。 同社では全国の建物のドアノブの印をチェックして確認しているそうです。印を見ればヴォーリズが輸入した物かどうか分かるそうです。そして、国会議事堂では「天皇陛下」「衆議院議員議長」「参議院議員議長」のお部屋にこのドアノブが使われていることが確認されているそうです。

1936年に完成した国会議事堂は、その建設にあたり、1908年に「議院建築の方法に就いて」が発表され、その中で、できる限り国産品を採用することが指示されていました。そこで問題の1つとして挙げたのが、国産品が充実していなかった建築金物(ドアノブ・鍵)でした。

この問題を解決するために要請を受けたのが、すでにアメリカの建築金物メーカーである SAGENT 社との関係を築いていたヴォーリズだったのです。

ヴォーリズは、運営する近江セールズで SAGENT の建築金物を輸入し納入したのち、さらに、SAGENT の特許を利用した国産品建築金物 OSC (Omi Sales Company) 印の製造をして、そ

れらを輸入品と交換していったのです。そして国会議事堂建築から 50 年後、老朽化への対応のため、建築金物は新たな SAGENT 製のものと交換されました。2022 年 4 月、衆議院・参議院両事務局の協力のもと調査を実施し、当時 OSC の建築金物が 1 階のフロア全体に導入されていたこと、さらに新しいものと交換はされてきたが、現在の国会議事堂に OSC 建築金物が一部現存していることが分かりました。

日本の近代化において、ヴォーリズが果たした役割の1つがこの建築金物(ドアノブ・鍵)で、ヴォーリズの功績は今も国会議事堂内に残されているのです。

(参考文献)ヴォーリズ勉強会報告書(滋賀県・大同生命保険・関西みらい銀行・近江兄弟社グループ)東北学院大学 文学部/講師 大門耕平氏のコラムより

救命講習会開催

7月27日 ひまわり館にて

応急手当の重要性受講

心臓と呼吸が止まった人の命が助かる可能性は、その後10分間に急激に低下します。



心臓マッサージと AED

このようなとき、まず必要なことは「すぐに119番通報する」ことです。

しかし、それだけでは十分ではありません。救急車が現場に到着するまでには、全国平均で8分以上かかります。救急隊を待つ間に居合わせた市民が救命処置を行うと、命の助かる可能性が高くなることが分かっています。この度、いち早く急変した方を救命し、社会復帰に導くための一連の処置の流れ、1：心停止の予防 2：早期認識と通報 3：一時救命処置(心肺蘇生と AED) 4：二次救命処置と集中治療 等の講義と、実際に AED の取り扱いの指導を受けました。

救急救命士の貴重な講義と実技でした。(広報部 田口)